

ノコクズはこのように使われている

蚊取り線香

蚊取り線香に木粉が使われている

蚊を殺すのはピレトリンという化学物質ですが、蚊取り線香は、この物質が加熱によって少しずつ大気中に放出されるようにしたものです。蚊取り線香に木粉を混ぜておくと、一定の形に成型できるほか、適度の速度で燃えるのを助け、量を増やす効果もあります。



どのように作られるか

水

木粉 除虫菊のしぼりかす でんぷん 緑色色素 ピレトリン

混合 混練 押出し 成型 乾燥 包装

配合割合は木粉30に除虫菊のしぼりかすが30で、残りは接着剤のでんぷん、香料、色素などです。

蚊取り線香に混ぜる木粉は、どうづき という鉄のきねでのこくずを圧砕したものです。樹種はなんでもよいのですが、現在はスギ、ヒノキ、シラカバなどを主に用います。価格は1kg当たり60~68円で、年間使用量は約3,000トンです。

除虫菊のしぼりかすは輸入品で、殺虫成分はわずかしが含まれていませんので、今後、これを木粉で置き替えることも可能です。

(林産試験場 峯村 伸哉)